

社 会 教 育 課

平成 28 年 12 月 31 日現在における平成 28 年度の予算及び事務事業の執行状況について定期監査を実施したので、その結果について概要を述べる。

1 職員の配置状況

当課の職員は課長（図書館長兼務）1 人、社会教育係 3 人、文化財係 2 人の計 6 人で、ほかに社会教育指導員 2 人、家庭教育専門指導員 1 人、校区社会教育推進員 13 人、山野西文化交流会館管理人 1 人、郷土資料館指導員 2 人が配置されている。

2 予算の執行状況

当課に係る歳入は、予算現額 455 万 3,000 円に対し、調定額 188 万 2,630 円、収入済額 188 万 1,310 円で、収入率は対予算 41.3%、対調定 99.9%となっている。

収入済額の内訳は、使用料及び手数料の教育使用料 103 万 7,630 円（ふれあいセンター一等使用料）、諸収入の雑入 84 万 3,680 円（ふれあい講座受講料、コピー料ほか）である。

一方歳出は、職員の給与費を除く予算現額 4,333 万 4,000 円に対し、執行済額は 3,020 万 7,780 円で 69.7%の執行率である。

執行済額の主なものは、次のとおりである。

(1) 社会教育総務費

執行済額は 326 万 9,980 円で、報酬 241 万 1,550 円（社会教育指導員ほか）、負担金補助及び交付金 48 万 8,900 円（始良伊佐地区社会教育振興会負担金、青年団連絡協議会育成補助金ほか）などである。

(2) 文化財管理費

執行済額は 361 万 8,036 円で、賃金 177 万 3,250 円（郷土資料館指導員、発掘作業員ほか）、委託料 32 万 3,166 円（地域資源電子データベース用保守業務ほか）、負担金補助及び交付金 140 万 3,900 円（国指定文化財管理事業補助金、伊佐市郷土芸能保存会運営補助金ほか）などである。

(3) 公民館費

執行済額は 1,226 万 5,232 円で、賃金 579 万 4,000 円（校区社会教育推進員）、委託料 523 万 4,000 円（校区集会施設、青少年センター等指定管理業務）などである。

(4) 視聴覚教育費

執行済額は 14 万 5,399 円で、需用費 1 万 6,393 円（消耗品費）、負担金 11 万円（県視聴覚教育連盟負担金）などである。

(5) 青少年教育費

執行済額は 365 万 1,340 円で、報償費 30 万 8,600 円（家庭教育学級講師謝金、青少年育成補導センター運営委員会出会謝金、青少年健全育成大会活動発表者報謝金ほか）、委託料 234 万 400 円（放課後子ども教室推進事業業務、家庭教育専門指導員業務）、負担金補助及び交付金 68 万 4,500 円（ふるさと学寮事業補助金、レインボーキ

ッズいさ事業補助金ほか) などである。

(6) ふれあいセンター費

執行済額は 699 万 3,375 円で、需用費 25 万 4,743 円(消耗品費)、役務費 33 万 1,648 円(通信運搬費)、委託 640 万 6,984 円(施設管理業務、窓口管理業務)である。

(7) 山野西文化交流館費

執行済額は 26 万 4,418 円で、報酬 25 万 2,000 円(管理人)、需用費 1 万 2,418 円(消耗品費、燃料費)である。

3 主な事務・事業の執行状況

事務事業名	執行済額(円) (予算現額)	事務内容及びその効果
社会教育推進事業	3,065,422 (4,130,000)	<p>【事業内容】 社会教育委員の会議や社会教育指導員の活動、各種社会教育団体の育成を通して、社会教育の振興を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○社会教育委員の会議設置(14人) 年3回の会議を開催し、市社会教育行政への提言により、市社会教育行政の発展を図る。 ○社会教育指導員の設置(2人) 青少年の健全育成、成人教室の運営、女性団体の育成等を推進する。 ○青年団活動助成 市の未来を担う青年団活動を支援する。(団員17人) <p>【事業効果】 社会教育委員の会議の開催や社会教育指導員の活動により社会教育の振興が図られた。鹿児島県PTA活動研究委嘱公開実行委員会及び市青年団に活動助成することで団体の活動が推進された。</p>
文化財保存・活用事業	2,798,436 (6,882,000)	<p>【事業内容】 郷土学習など教育的活性化を図り、後世に文化財を残す重要な事業である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○指定文化財保存管理 ○郷土資料館(大口・菱刈)に指導員を配置 ○地域資源電子データベースシステム運用 ○郷土芸能保存会活動支援 <p>【事業効果】 管理保全のための補助金や環境整備のための委託(史跡清掃、標柱看板設置)等により適正に文化財の保存管理がなされている。資料館の専門指導員による来館者へのきめ細やかな説明や各団体が行なう文化</p>

		財関連の行事に講師として派遣することにより郷土学習の機会を掴むことができた。12月10日に郷土芸能祭典を実施し、郷土芸能活動の活性化が行なわれた。
薬師原遺跡調査事業	415,425 (1,804,000)	<p>【事業内容】</p> <p>平成26～27年度にかけて発掘調査を実施した周知の埋蔵文化財の整理、報告書作成を行なう。</p> <p>【事業効果】</p> <p>報告書を作成し、調査を行なった遺跡の記録保存を図るとともに、今後の開発行為に対し、埋蔵文化財の保護と開発事業との調整をスムーズに行うことができる。</p>
公民館施設等運営事業	5,248,824 (5,324,000)	<p>【事業内容】</p> <p>地区公民館、青少年センター及び校区集会施設において、それぞれの校区コミュニティが地域の活性化と生活文化の振興を図る。羽月地区公民館、羽月西・牛尾青少年センター、田中・本城・湯之尾校区集会施設は、校区コミュニティ協議会に指定管理をして運営を行う。</p> <p>○指定管理委託料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・羽月地区公民館 362,000円 ・羽月西青少年センター 297,000円 ・牛尾青少年センター 271,000円 ・田中校区集会施設 1,537,000円 ・本城校区集会施設 1,245,000円 ・湯之尾校区集会施設 1,522,000円 <p>【事業効果】</p> <p>各校区コミュニティにより運営管理を行ない、生涯学習の場として活用される。</p>
公民館講座運営事業	7,016,408 (11,138,000)	<p>【事業内容】</p> <p>ふれあいセンターを中心に、校区公民館等も活用して各種生涯学習講座を開設し、市民の教養向上と生きがい対策を進める。</p> <p>○市民の生涯学習活動を推進するため、平成28年度ふれあい講座として、25講座を開設し、391人が受講している。平成27年度の終了率(2/3以上出席者)は73.15%</p> <p>○各校区での青少年体験活動やふるさと学寮による青少年健全育成。</p> <p>○高齢者学級や女性学級、公民館講座の実施。</p>

		<p>【事業効果】</p> <p>ふれあい講座の実施により地域住民の生きがいがづくり、交流の場の提供として効果を上げている。</p> <p>各校区コミュニティにより特色ある講座が開かれ、地域住民の教養向上の効果がある。</p>
放課後子ども教室 推進事業	1,523,018 (1,865,000)	<p>【事業内容】</p> <p>未来を創る心豊かでたくましい子どもたちを地域全体で育むため、地域内の高齢者などのボランティア指導者により、校区公民館等を利用して放課後子ども教室を行う。</p> <p>○地域の指導者による学習活動、創作活動、レクリエーション、スポーツ活動を通して、子どもの帰宅までの安全・安心を守ることを目的とする。</p> <p>本城校区・湯之尾校区・南永校区・針持校区・菱刈校区で実施。</p> <p>・指導者8人、児童27人（本城4人、湯之尾2人、南永6人、針持6人、菱刈9人）</p> <p>【事業効果】</p> <p>放課後の子ども居場所作りとして効果がある。また学力の向上及び昔遊び等により伝統文化の継承としても効果が期待できる。</p>
青少年教育推進事業	775,708 (1,194,000)	<p>【事業内容】</p> <p>心豊かで、確かな生きる力を持った次代を担う青少年を育成する。</p> <p>○青少年体験活動の推進</p> <p>子ども会や「レインボーキッズいさ」などの会員が体験活動や県等の研修に参加することで、ジュニアリーダーの育成を図っている。</p> <p>年間を通しての体験活動、ボランティア活動などを体験することにより、子どもたちに生きる力や協調性、協働の精神などを身につけてもらう。また、ふるさと教育の推進により、郷土への愛着心を育む。さらに、指導者の育成も大事なことであり、各地域のリーダーの発掘・育成を図っていく。</p> <p>○始良・伊佐地区子ども会大会（伊佐会場） 10月22日（土）伊佐市文化会館 115人参加</p> <p>○成人式の実施（ふれあいセンター） 1月3日（火）伊佐市文化会館 新成人225人参加</p>

		<p>【事業効果】</p> <p>青少年に研修の機会や体験活動の場を提供することで、学校以外の青少年教育・ふるさと教育がなされている。</p>
家庭教育推進事業	1,008,520 (1,203,000)	<p>【事業内容】</p> <p>青少年の非行化、基本的な生活規範の欠如などの一因として、家庭の教育力の低下が挙げられる。子どもたちの成長のためには、学校教育ばかりでなく、家庭での教育の推進が重要である。</p> <p>○家庭教育指導専門員を設置し、親業出前講座を市内小中学校で実施する。親（保護者）の子どもへの教育力不足が指摘される中、子どもとの向き合い方、親としての立場の伝え方などについて、家庭教育指導専門員が各小、中学校と本城幼稚園で年3回程度の出前講座を実施している。</p> <p>○平成27年度で51回751人受講（平成28年度は実施中）</p> <p>○家庭教育推進委員会を年2回開催し、効果的な家庭教育支援について協議を行っている。</p> <p>○家庭教育情報紙「親なら子なら」を年2回、市内全戸に向けて発行し、家庭教育に関する啓発を行っている。</p> <p>【事業効果】</p> <p>講座や情報紙の発行などの家庭教育支援がそれぞれの家庭での教育充実につながっている。</p>
ふれあいセンター運営事業	6,993,375 (7,330,000)	<p>【事業内容】</p> <p>ふれあいセンターは「生涯学習の場」として多くの市民に利用していただき、人と人がふれあい互いに教養を高め、地域の人々の絆を見いだす場とすることを目的とし、誰もが利用しやすい施設の管理に努める。</p> <p>○ふれあいセンターの施設管理</p> <p>施設管理業務委託料 4,085,016円 窓口業務委託料 2,321,968円</p> <p>【事業効果】</p> <p>業務委託により施設管理、窓口業務が遂行され、生涯学習の場として利用されている。</p>
山野西文化交流館運営事業	264,418 (434,000)	<p>【事業内容】</p> <p>地域の恵まれた自然環境を生かし、体験交流活動等を通して地域の活性化が図られるよう管理する。</p> <p>管理人報酬 28,000円/月</p>

		<p>【事業効果】</p> <p>施設の管理がなされ、近隣住民とのふれあいの場として活用されている。</p>
--	--	--

4 主な委託の実施状況

補助 単独 の別	委託業務名	契約金額 (円)	契約の相手方	契約 方法	契約の期間
単独	田中校区集会施設指定 管理	1,537,000	田中校区コミュニティ協議会	随意 契約	H28.4.1～ H29.3.31
単独	本城校区集会施設指定 管理	1,245,000	本城校区コミュニティ協議会	随意 契約	H28.4.1～ H29.3.31
単独	湯之尾校区集会施設指 定管理	1,522,000	湯之尾校区コミュニティ協議 会	随意 契約	H28.4.1～ H29.3.31
単独	伊佐市家庭教育専門指 導員業務	878,400	内倉昭夫	随意 契約	H28.4.1～ H29.3.31
補助	放課後子ども教室推進 事業業務	1,462,000	公益社団法人伊佐市 シルバー人材センター	随意 契約	H28.4.1～ H29.3.31
単独	大口ふれあいセンター 施設管理業務	4,085,016	公益社団法人伊佐市 シルバー人材センター	随意 契約	H28.4.1～ H29.3.31
単独	大口ふれあいセンター 窓口管理業務	2,321,968	大口コミュニティ協議会	随意 契約	H28.4.1～ H29.3.31

5 負担金及び補助金の支出状況

(1) 主な負担金の支出状況は、次のとおりである。

団体名	負担金額(円)	事業内容等
始良伊佐地区社会教育 振興会	224,000	始良・伊佐地区内の4市町が連携して、社会教育の振興を図り、社会教育事業の推進、社会教育団体の育成を進めていく。
県視聴覚教育連盟	110,000	県内の視聴覚教育振興のため県内全市町村により組織されている。視聴覚教育教材の収集提供、研修会の開催など市町村視聴覚教育の発展を図っている。
県公民会連絡協議会	26,500	県内各地市町村教育委員会、関係機関・団体と連携し情報収集や提供、関係職員の資質の向上を行ない、地域住民の生涯学習やコミュニティ活動の拠点として公民館運営や機能整備・充実を図る。

(2) 主な補助金の支出状況は、次のとおりである。

団体名	事業名	対象事業費	補助金額 (円)	事業内容等
国指定文化財 祁答院住宅	国指定文化財 祁答院住宅補助金	394,600	394,600	国指定文化財維持管理 重要文化財建造物の適正な維持管理を行なう。
伊佐市郷土芸 能保存会	伊佐市郷土 芸能保存会 運営補助金	1,988,800	670,000	貴重な郷土芸能を絶やさぬよう 後継者の育成に努める。28年度は 郷土芸能祭典を実施し、8団体の 出演し活動の活性が図られた。
レインボーキ ッズいさ実行 委員会	レインボー キッズいさ 事業補助金	230,000	117,000	小学校4年生から高校3年生 までの異年齢の児童・生徒で構成 された青少年体験活動団体。 年間を通して様々な活動（ボラ ンティア活動・農業体験・宿泊学 習体験・国県等の各種研修参加） を展開している。校区、指導者の サポート体制も整い、青少年健全 育成の視点からも今後の活動が期 待される。 ・平成28年度団員数13名
ふるさと学寮 実行委員会	ふるさと学寮 事業補助金	582,607	550,000	集団宿泊体験事業 親元（保護者）を離れての集団 生活を通して子ども達の自主性、 協調性、忍耐力や連帯感を養う。 各校区コミュニティ協議会を中心に人的 サポート体制をとる。 6月22日～25日 大口校区9名、牛尾校区18名、羽 月校区16名、羽月西校区15名、 曾木校区11名、針持校区12名、 本城・南永校区10名、菱刈校区 16名、田中校区21名、湯之尾校 区18名 8月1日～3日 山野校区10名

6 財産管理の状況

(1) 土地・建物の管理状況は、次のとおりである。

種 別	面 積 (㎡)	内 訳
土 地	43,020.02	(1) ふれあいセンター 9,537.95 ㎡
		(2) 山野西文化交流館 14,490.00 ㎡
		(3) 校区集会施設、地域集会施設等 17,782.58 ㎡
		(4) 鉄道記念公園 463.00 ㎡
		(5) 大住古墳群ほか 746.49 ㎡
建 物	10,943.45	(1) ふれあいセンター 5,911.73 ㎡
		(2) ふれあいセンター駐車場公衆便所 27.65 ㎡
		(3) 山野西文化交流館 707.00 ㎡
		(4) 校区集会施設、地域集会施設等 4,297.07 ㎡

(借地)

地 目	所 在 地	所有者	面 積 (㎡)	年間賃借料 (円)	借用期間	利 用 状 況
雑種地	菱刈荒田 2546-2	(個人所有)	221.00	10,000	H28.4.1～ H29.3.31	青木元地区教育 集会所 (ゲートボール場)
墓 地	大口田代 242-5	霞山霊園 組 合 長 田中貫一	298.00	30,000	H23.4.1～ H29.3.31	羽月西青少年セ ンター駐車場

(2) 絵画等の管理状況は、次のとおりである。

種 類	作 者 名	題 名	取得の相手	取得理由	取得年月日	展示場所等	
絵 画	油絵	犬童 次夫	邂逅	犬童 次夫	—	—	ふれあいセンター
	〃	犬童 次夫	朱とグリーン	犬童 次夫	—	—	〃
	〃	山口 長男	かたち	大口中学校	—	—	大口図書館
	〃	山口 長男	作品4	羽月小学校	—	H5.12.15	〃
	水彩	山口 長男	無 題	神保 晴子	寄 贈	H20.8.27	〃
	〃	山口 長男	無 題	神保 晴子	寄 贈	H20.8.27	〃
	油絵	田之上 正	舞 う	田之上 正	寄 贈	H5.1.6	〃
	〃	田之上 正	人物像	永吉のり子	寄 贈	H14.1.13	〃
	水墨	田之上 正	風景(開門雪山)	永吉のり子	寄 贈	H14.1.13	〃
	油絵	新留 求	少 女	新留 求	寄 贈	H5.11.8	ふれあいセンター
	〃	長谷川武光	家族鶏をつぶす	長谷川武光	寄 贈	H4.6.1	〃
	〃	長谷川武光	パリスの審判	長谷川武光	寄 贈	H4.10.1	大口図書館
	〃	前村 卓巨	Crack up93-IV	前村 卓巨	寄 贈	H6.5.10	ふれあいセンター
〃	前村 卓巨	Crack up93-II	山野中学校長	寄 贈	H14.10.2	〃	

	〃	宮上 松岳	海音寺先生	宮上 松岳	—	—	大口図書館
	〃	隈元 剛	田之神と共に	隈元 剛	寄 贈	H7.6.17	ふれあいセンター
	〃	山下 郁子	曾木の滝	山下 郁子	寄 贈	H25.5.16	〃
	写真	—	終戦御前会議	村岡二三次	—	—	大口図書館
版画		竹之内直記	女神の豊穰舞	竹之内直記	購 入	H4.3.31	〃
彫刻		丁野 政行	福祿寿一体	丁野 政行	寄 贈	H14.4.17	〃

7 現地監査

湯之尾校区公民館集会施設、共進地区教育集会施設、菱刈ふるさといきがいセンター図書館の土地・建物及び大口東青少年センターの建物の管理状況について現地監査を実施した結果、いずれも良好に管理されていることを認めた。

8 その他

当課で整備保管すべき財務に関する諸帳簿等は、おおむね良好に整備保管されていることを認めた。